

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

長・活・木(ながいき)の家

グループの名称

信州『長寿の家』を考える会

直近採択グループ番号

06-0660-0394

(グループ代表者)

代表者名

大蔵 久男

代表者印

代表者所属先

株式会社ヤマキチ木材

代表者所在地

長野県飯田市座光寺

代表者電話番号

0265-22-0055

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社ヤマキチ木材

事務局担当者名

岡部 和広

印

事務局郵便番号

395-0001

事務局所在地

長野県飯田市座光寺5526-1

事務局電話番号

0265-22-0055

事務局FAX

0265-52-6371

事務局担当者E-mail

support-c@yamakiti.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	長・活・木(ながいき)の家
2. グループの名称(必須)	信州『長寿の家』を考える会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0660-0394
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	長野県 岐阜県 愛知県 山梨県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	大蔵 久男
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社ヤマキチ木材
8. グループ代表者所在地(必須)	長野県飯田市座光寺
9. グループ代表者電話番号(必須)	0265-22-0055
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社ヤマキチ木材
11. グループ事務局担当者名(必須)	岡部 和広
12. グループ事務局郵便番号(必須)	395-0001
13. グループ事務局所在地(必須)	長野県飯田市座光寺5526-1
14. グループ事務局電話番号(必須)	0265-22-0055
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0265-52-6371
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	support-c@yamakiti.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	15	原木供給事業者が海外事業者であるため
II. 製材・集成材製造・合板製造	18	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	
IV. プレカット	9	
V. 設計	15	
VI. 施工	26	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材		3	国内	
		外材		3	国外	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		4	国内	
		外材		4	国外	
		信州木材認証材	長野県	信州木材認証制度	1	国内
	岐阜証明材	岐阜県	岐阜証明材推進制度	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		7	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		4	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	当グループが定める「配分ルール」により配分協議会を開催し配分を行う。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	11	戸	交付申請戸数	9	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	9	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	棟	戸			
採択床面積	m ²	交付申請床面積	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	m ²				

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 長・活・木(ながいき)の家	(地域型住宅供給対象地域) 長野県 岐阜県 愛知県 山梨県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 信州『長寿の家』を考える会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0660-0394	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	長野県南信州の地域は、寒暖差があり高い断熱性能を求められる。そのため地域に応じた断熱性能以上とする。また、地震に対するリスクに対応するため耐震等級2以上を目指す。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	「災害に強い家」を目指し、自然エネルギーの活用や環境に配慮した家作りを目指す。具体的には、薪ストーブ、ペレットストーブ、太陽光、貯水タンク、LED照明の中から1つ以上選択する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	夏の採風・日射遮蔽、冬の採光等パンプ設計に配慮し、軒の出を極力大きく出したり庇の採用、建物周辺の緑化等に工夫を施す。	◎
④①～③の背景	長野県南信州地域の夏と冬の気温差は非常に厳しく夏の最高気温は、摂氏35度以上の猛暑になることも珍しくない。また冬の最低気温はマイナス10度に達することもある地域である。また、長野県内では、近年地震に対するリスクの意識が高まっておりその対策も求められる。長野県は地域環境や自然環境の良い地域で「2016年 移住したい県」ランキングで1位になっていて2027年には、リニア新幹線の駅が建設され開通することによって周辺の街並みや環境が大きく変化することが予想できることから住宅や街並みの環境や性能を地域ぐるみで意識検討していく必要がある。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	施工構成員には、次世代を担う経営者・技術者が多く在籍しグループとして住宅や建築物に求められる性能向上の支援体制を整備するとともに施工構成員の技術向上に努める。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 劣化対策等級の観点から土台・柱には、耐久性区分D1樹種を使用する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 土台は、桧、米ヒバ又はそれらの構造用集成材を使用し、柱には桧、杉、唐松、米松又はそれらの構造用集成材を使用する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 構造材寸法(基本材幅)を105mm又は120mmに統一する。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: メーカー商品の選別を行い数量をまとめた発注によりコストの圧縮と安定供給に努める。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 近隣の長野県、岐阜県の広域材や中部圏の流通拠点との連携を図り、スムーズな受発注体制を構築する。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 商品や設計施工にかかる情報、性能向上に向け技術的が入手しやすい環境にあるため今後それらを整備、拡大しながら施工技術者各社にあった効果的な提供に努める。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 商品や設計施工にかかる情報、性能向上に向け技術的が入手しやすい環境にあるため今後それらを整備、拡大しながら施工技術者各社にあった効果的な提供に努める。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 耐震性能:準耐力壁を除く耐力壁で「等級2」以上	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 基礎及び軸組構造の接合方法について設計図書をもとにプレカットによるダブルチェックを行い金物施工図を作成する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 見積書の一式表示をやめ内訳書を作成し消費者にわかりやすい表示に努める	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: CASBEE、QPEX、一次エネルギー算定プログラム、エネルギーパスのツールを活用し消費者に断熱性能や1次エネルギー消費量の削減結果をわかり易く説明する。また住宅版BELSを積極的に活用する。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 会員各社ごとに組織・体制が異なるため勉強会や会議等の折に意見交換を行い検討を行う	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 会員各社ごとに組織・体制が異なるため勉強会や会議等の折に意見交換を行い検討を行う	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 会員各社ごとに組織・体制が異なるため勉強会や会議等の折に意見交換を行い検討を行う	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 会員各社ごとに組織・体制が異なるため勉強会や会議等の折に意見交換を行い検討を行う	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 長・活・木(ながいき)の家	(地域型住宅供給対象地域) 長野県 岐阜県 愛知県 山梨県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 信州『長寿の家』を考える会	(結成年) 2015 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0660-0394		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積情報のメンテナンステナンス基準		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 紙媒体と記録用媒体による二重保存を物件ごとに保管管理を行う。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通の点検項目を設け点検シートを作成し計画的な点検を行う	○
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修の必要性を十分に検討し積極的な補修を行う	○
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検において補修検討がある個所について原則として工事業者との現場再検証を行い判断する	○
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新築予定者やOB施主さま向けの勉強会を企画し行う。	○
	③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 顧客を対象とした地域ぐるみのイベントを年1回開催する。住宅に関連する技術者等の協賛や自然素材等の商品情報の提供を企画し言家作りの楽しさや快適な暮らしを感じるライフスタイル	◎
③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計・施工向上委員会、CS(満足度)向上委員会を組織しており定例会等において意見交換	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 今後の検討課題としている。	○
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: CS(満足度)向上委員会を中心に取り組みを始めている	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	施工業者は、年1回以上施工主宅を訪問する。		◎
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅、高度省エネ化に取り組むための勉強会を外部講師の他グループ内経験施工者による勉強会を行う。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例会等定期的に運営向上委員会他の向上委員会により個別に管理の進捗状況の確認を行う	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新築における省エネ基準適合を2019年までに標準仕様とする。また2020年以降1棟以上のZEH	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 導入する設備を統一化し、断熱性能の標準仕様を作成する。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局において講習会情報の入手に努め施工業者に案内し参加する。また、グループ内勉強会	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で共通のCAD、計算ツールを活用できる環境が構築済みでありプレカットまで連携を取り作業効率と精度の向上を図る	○
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 長・活・木(ながいき)の家	(地域型住宅供給対象地域) 長野県 岐阜県 愛知県 山梨県											
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 信州『長寿の家』を考える会	(結成年) 2015年											
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0660-0394												
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み	※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。												
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与													
【平成30年度対応方針】													
a		◎、○ 記入欄											
① 地域材利用に関する共通ルール (必須)	土台：合法木材証明制度、信州木材認証制度、岐阜証明材推進制度の検、ヒバ又はそれらの構造用集成材 柱：合法木材証明制度、信州木材認証制度、岐阜証明材推進制度の検、杉、唐松又はそれらの構造用集成材 桁：合法木材証明制度、信州木材認証制度、岐阜証明材推進制度の検、杉、唐松、米松、赤松又はそれらの構造用集成材	◎											
② 地域材利用の1棟当たりの割合 (必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上												
③ 標準的な地域材の使用部位 (必須)	<table border="0"> <tr> <td rowspan="2">主要構造材</td> <td>土台： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>柱： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>梁・桁等の横架材等：</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>桤材、廻縁等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	柱： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	梁・桁等の横架材等：	<input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	桤材、廻縁等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
主要構造材	土台： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している												
	柱： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している												
梁・桁等の横架材等：	<input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している												
羽柄材	間柱、根太、垂木等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している												
造作材	桤材、廻縁等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している												
板材	壁板、床板等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している												
④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>当グループの地域は、長野県の南信州を中心とする地域であり岐阜県とは、恵那山を境に隣接しているため岐阜県産材も多く活用されている。長野県と岐阜県は森林、林業分野における連携の一つとして両県の県産材の認定基準を共通化した「広域認定基準」を定め連携活動を実施している。このことを踏まえ木材のブランド化や地域経済の活性化を目標として長野県産材、岐阜県産材の積極的な活用を推進していく。</p> <div style="text-align: center;"> </div>												
b													
①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容：製品の保管方法は、ラベルの貼付等により産地と数量の把握を行う	○											
①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容：4か月毎に価格表の見直しを行う	○											
② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：定例会又は随時受注状況やその見込みの情報交換を行い管理している	◎											
c													
①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：												
①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：												
①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：												
①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：												
②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：												
②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：												
d													
① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：屋根の形状を寄棟、切妻、片流れ又はバラベツ等とし軒の出を極力出し又はバルコニーの持出等による日射遮蔽に取り組む	◎											
② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：建物の開口部やその周辺に防犯対策を施す	○											
③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：救地境界付近にフェンス、塀、植栽等を設ける際は、極力視界を遮らない開放的なデザインや配置に配慮し開放的な街並み形成を目指す。	◎											
④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：建物内外の色彩に統一性を持たせ周辺環境との調和を図る。	○											
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。												
カ. その他													
【平成30年度対応方針】													
		◎、○ 記入欄											
東日本大震災の復興に資する取組													
平成28年熊本地震の復興に資する取組													

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 長・活・木(ながいき)の家	(地域型住宅供給対象地域) 長野県 岐阜県 愛知県 山梨県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 信州『長寿の家』を考える会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0660-0394	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

平成30年度版

長・活・木 (ながいき) の家

ゼロエネ目標

<p>zeroh30-3</p> <p>UA値 0.48 R値 104% R0値 24%</p>	<p>zeroh30-4</p> <p>UA値 0.57 R値 104% R0値 24%</p>	<p>zeroh30-5</p> <p>UA値 0.57 R値 104% R0値 24%</p>
---	---	---

太陽光発電



高度省エネ型共通

耐震性能の向上

等級 2

(準耐力壁を含まず確保)



ゼロエネルギー住宅

認定取得

認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅

積極的に活用

地域材の積極的活用

長野県産材・岐阜県産材の広域認証材の積極的活用



お施主様にもっと住宅の省エネルギー性能を分かり易く解説

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。